

長野上水内教育会に集い、共に学び、つながろう ～引き出しが増える教育会！～

一般社団法人 長野上水内教育会長 勝野 学

私はこれまでに、教育会が企画する事業に少し参加したり、少し本を読んだり、少し各種研修会に参加したりして、多少は研修してきたつもりです。それは、研修することによって、今まで知らなかった新たな見方考え方に触れたり、様々な教育実践を知ったりして、それによって、自分の持っている引き出しを少しでも増やしたかったからです。

担任時代、前日から、明日の朝の学活ではこんな話をしようと考え、翌日は、張り切って教室へ行きましたが、ドアを開けると、とんでもないことが起こっていたことがあります。昨日考えていたことが、まったく使えませんでした。また、授業も同じです。前日考えた授業展開が、子どもの一つの発言によって、すべてひっくり返るがありました。そんなとき、引き出しを多く持っている、違う引き出しから違うものを引っ張り出して、使うことができます。自分も持っている引き出しが少なかったときは、あたふたして、先へ進めないことがありました。

新たな見方考え方に触れたり、引き出しの数を増やしたりできるのが教育会です。皆さんといっしょに、その環境を整えていきたいと思います。今年のテーマは、「引き出しが増える教育会」です。

そもそも、教育会は、先輩の皆さんが創設した教職員が共に学ぶ貴重な仕組みになっています。長野上水内教育会では、どんな時も先生方の学びを止めず、先生方がつながりあって、互いに磨き合い、協力し合い、助け合いながら教職員として成長していくことに寄与し続けてきました。そこで、その熱い思いを受け継ぎ、本年度も、「自ら求め 人を知り 人とつながり 学び続ける」を合言葉に各事業を運営してまいります。教育会には、総集会、研究委員会、研修視察補助、夏季大学、教育懇談会とたくさんの魅力ある事業が用意されています。長野市教育委員会と長野上水内教育会との共同研究として進めている7委員会を含め、研究委員会の更なる継続・発展を図ります。研究助成事業では、個人研修、グループ研修、個人・グループ視察に補助をします。

特に、夏季大学は、今年度も豪華な講師の先生方です。第1講座の講師は、宮下健司先生（長野市立博物館協議会会長）、富樫 均先生（前いづな歴史ふれあい館館長）、近藤洋一先生（野尻湖ナウマンゾウ博物館館長）、田辺智隆先生（戸隠地質化石博物館研究員）、第2講座は、立川談慶師匠（落語家）、第3講座は、土田光子先生（大阪多様性教育ネットワーク共同代表）、第4講座は、福岡伸一先生（青山学院大学教授）です。臨地講習は、これまで同様、各方面に出かけます。新たな講座として、信州新町でカヤック・SUP 講座が開催されます。また、音楽の夕べとしてシンガー木山裕策さんによる講演とライブも計画しています。

このように、時代を先取りし、アグレッシブな長野上水内教育会に、一人でも多くの方が集い、教師の自主的研修と、教師同士の熱いつながりの輪を広げていただければと思います。会員一人ひとりが教育会の活動に主体的に参加・参画し、自己研鑽を深め、共に磨き合うことにより、「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」の具現が図れるものと思います。そして、今まで知らなかった見方・考え方に触れ、さらに自分の引き出しを少しでも多く増やす教育会になれば幸いです。みなさん、長野上水内教育会に集い、共に学び、そしてつながりましょう。